

I 令和5年度 事業報告

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が第5類に移行して学校行事の中止が減少し、提供食数はほぼ例年通りとなりました。物価高騰の影響で給食用物資も価格上昇したため、市に合わせて物資購入費の予算補正を2度行いました。また、地産地消及び食育関連事業に関しましては、地元農畜産物の使用拡大及び食育の充実を図るため、「とよはし産学校給食の日」や各種食育講話会等を開催しました。

学校給食物資の調達事業に関しては、安全、良質な物資調達を基本とし、豊橋市の依頼に基づいて、毎月物資選定委員会を開催し、食品の規格、品質及び調理上の問題点等を考慮しながら審査決定し、本年度は年間約16億9,682万円の物資を調達いたしました。

納入業者に対しては、衛生管理講習会や現場査察を通じて学校給食の安全性への啓発に努めました。また、製造工場の衛生監視票や物資配合成分表等の内容を精査したうえで、安全で良質な物資の調達を行い、物資の検収についても、細心の注意を払い数量、規格、品質等を確認し適正かつ円滑な納入業務に努めました。

豊橋市からの受託事業の学校給食補助業務の適正実施にも努めました。

1 事業期間 令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

2 事業実績

(1) 地産地消及び食育関連事業

ア 「とよはし産学校給食の日」講話会の開催

地元で生産された農産物を使用する「地産地消」を推進する活動のひとつとして、豊橋産農産物を使用した特長ある学校給食を提供する「とよはし産学校給食の日」に合わせ、作り手である農家が小学校で講話を行い、生産者の顔が見える給食を提供することにより、児童の地元農産物への理解を深めた。5年度から新たにブロッコリーを開始した。

開催年月日	対象農産物(講師)	実施校	参加人員
令和5.5.17	ミニトマト (JA豊橋ミニトマト部会)	磯辺小	2年生 97人
5.5.18	大葉 (豊橋温室園芸農協大葉部会)	大村小	3年生 27
5.6.16	なす (JA豊橋なす部会)	中野小	3年生 55
5.6.27	大玉トマト (JA豊橋トマト部会)	大清水小	5年生 45
5.7.12	とうがん (JA豊橋琉球冬瓜同好会)	幸小	3年生 163
5.11.1	ブロッコリー (JA豊橋洋菜部会)	福岡小	3年生 99
5.11.21	次郎柿 (JA豊橋柿部会)	岩西小	3年生 105
5.12.7	米 (JA豊橋受託協議会)	大村小	5年生 26
6.1.23	キャベツ (JA豊橋キャベツ部会)	岩西小	3年生 104
計	9回	9校	721

イ 食育講話会の開催

学校給食で使用する食材料について、原料・製造方法・流通の仕組み等を生産者が講話を行うことにより、児童が食材料やそれらに関わる人々の様々な活動に対する理解を深めた。5年度から新たにこんにゃくを開始した。

開催年月日	対象食材料（講師）	実施校	参加人員
令和5.6.12	豆腐（株式会社寺部食品）	磯辺小	6年生 105人
5.6.16	めひかり（有限会社まんでん.）	小沢小	4年生 13
5.11.22	練製品（ヤマサちくわ株式会社）	磯辺小	3年生 92
5.12.4	こんにゃく（有限会社織九）	磯辺小	5年生 82
5.12.8	めひかり（有限会社まんでん.）	前芝小	5年生 29
5.12.14	うずら卵（天狗缶詰株式会社）	岩西小	3年生 105
6.1.19	乳製品（中央製乳株式会社・愛知県酪農農協・東海酪農協連合会）	岩西小	3年生 104
6.1.29	うずら卵（天狗缶詰株式会社）	中野小	4年生 62
計	8回	8校	592

ウ 食品工場見学会～たべもの探検バスツアーへの開催

地域の生産者と消費者を結び付け、食品の工場見学及び手作り体験等を行うことにより児童生徒が地元で製造される食材料とそれらに係わる人々の様々な活動を身近に感じ理解を深めるために「たべもの探検バスツアー」と称し食品工場の見学会を開催した。

開催年月日	見学場所	対象者	人員
令和5.8.22	天狗缶詰（株）三河工場	市内在住の小中学生	14組 40人
5.8.23	中央製乳（株）	及びその保護者	15組 40人

エ 生産者団体との意見交換会の開催

学校給食における地元農産物の使用拡大に向け、生産者団体及び行政担当者と意見交換会を開催し学校給食物産調達への理解を深めた。

開催年月日	開催場所	案 件
令和5.5.19	南部学校給食センター	・「とよはし産学校給食の日」（大葉・ミニトマト）の取組 ・令和4年度使用実績を踏まえ5年度前期使用拡大 ・野菜価格動向及び作柄状況 ・主要地場野菜の令和4年度産出額（出荷数量） ・今後の取組
5.5.24	曙学校給食センター	・産直販売品の学校給食への使用 ・新規地場産農産物

令和 5. 8. 18	南部学校給食センター	・「とよはし産学校給食の日」(なす・大玉トマト・とうがらの取組) ・令和5年度後期献立に基づく使用拡大 ・野菜価格等動向 (9～12月動向・秋冬作付状況他) ・今後の取組
5. 10. 16	南部学校給食センター	・令和5年度後期、6年度前期献立に基づく地場産使用拡大 大 ・野菜の価格動向、作柄状況 ・今後の取組
6. 1. 26	南部学校給食センター	・「とよはし産学校給食の日」(ブロッコリー、柿、米、キヤベツ)等の取組 ・令和6年度献立に基づく地場産使用拡大 ・野菜の価格動向 (冬物近況、春夏物作柄状況等) ・今後の取組 ・給食試食会 (愛知を食べる学校給食の日メニュー)

オ 保護者との意見交換会への参加

各学校が開催する給食懇談会へ参加し、安全・安心な学校給食物資の調達方法や規格等について保護者に説明及び意見交換を行った。

開催年月日	実施校	参加人員
令和 5. 6. 7	中野小	1年生保護者 30人
5. 6. 13	吉田方小	69
5. 6. 26	東田小	28
5. 6. 28	老津小	31

カ アイデア料理コンテストの開催

児童・生徒から地元農畜産物を使用した料理献立の募集行い、地域の農畜産物及び伝統的な食文化に関する理解を深めた。今年度は4年ぶり実技コンテストを行った。

小学校応募数	127点
中学校応募数	7
計	134

キ 学校給食に関するポスター・習字の募集

児童・生徒から学校給食に関するポスター・習字の募集を行い、意識高揚を図った。

区分	ポスター応募数	習字応募数	計
小学校	769点	2,137点	2,906点
中学校	158	880	1,038
計	927	3,017	3,944

ク たべものづくり教室 ～愛知を作って食べてみよう～ の開催（新企画）
夏休みに親子で豆腐作りとこんにやく作り教室をそれぞれ1回ずつ実施した。

開催年月日	対象農産物	対象者	参加者
令和5. 7. 27	豆腐	市内在住の小中学生 及び保護者	9組 25人
5. 7. 28	こんにやく		10組 24人

(2) 学校給食物資調達事業

市内小中学校・特別支援学校 75校分の学校給食物資調達のため、次の事業を行った。

ア 学校給食物資納入業者の登録業務

- ・登録更新 … 0件（2年目のため手続きなし） ＊今回の新規登録は0件
- ・登録辞退 … 0件

イ 8月を除いた毎月、物資選定委員会を開催し、安全、良質、廉価な購入物資を決定

ウ 納入される物資の検収は、数量、規格、品質等の状況を確認し、適正な納入業務の推進

エ 納入物資の安全確保を図るため、放射能検査及び細菌等検査を実施

- ・放射能検査実施件数 …………… 328件（117品目） ＊全て検出なし
- ・細菌等検査実施件数 …………… 149件（40品目） ＊すべて陰性（正常値）

オ 学校給食物資購入における代金の支払

(3) 学校給食補助業務事業

豊橋市からの委託を受け、東部学校給食センター及び34校の小中学校において次の事業を行った。

ア 野菜類の下処理作業（午前の部従業員）

午前8時15分～午前11時15分

イ 食器、食缶の洗浄作業（午後の部従業員）

午後1時30分～午後4時30分

ウ コンテナーの受入作業（学校の部従業員）

午前11時～午後2時

エ 従業員数

区分	午前の部	午後の部	学校の部	計
東部	7人	13人	16人	36人
曙	—	—	—	—
南部	—	—	—	—
北部	—	—	38	38
計	7	13	54	74

※ ーは民間委託

(4) 調査研究・衛生管理事業

ア 調査研究事業

- (ア) 物資の価格等の動向調査及び資料等の作成を行った
- (イ) 給食物資及び新製品の紹介等により商品知識の向上を図った。
 - ・物資情報連絡会（新商品）…………… 1 回
 - ・物資検討会（次期使用予定商品）…………… 2 回
- (ウ) 学校給食物資納入業者への現場査察を実施し、給食物資納入業務の万全を図った。
 - …………… 4 回
- (エ) 学校給食の充実発展を図るため、他市の給食協会と情報交換等を行った。
また公益法人定例講習会に参加し、インボイス制度等について情報収集した。

イ 衛生管理事業

- (ア) 職員及び従業員に対する衛生管理等の研修会…………… 1 回
- (イ) 学校給食物資納入業者に対する衛生管理講習会…………… 1 回
- (ウ) 職員及び従業員の健康診断…………… 1 回
 - 検 便…………… 24回
- *その他、新型コロナウイルス等感染防止・熱中症防止対策 …… 随時
- (エ) 学校の部従業員の食品衛生責任者の資格取得…………… 1 回